

委員会レポート

であったと聞いている。今のところ
公共下水道事業の不調はない。

決算特別委員会

平成24年度一般会計決算に
ついて

Q ふるさとづくり事業推進費は何
地区に助成されたか。

A 67総代のうち30総代から申請が
あり、佐屋17地区、立田3地区、八
開1地区、佐織9地区に助成した。

Q 消防水利の充足率は。

A 充足率は89.9%。地区別では、
佐屋地区が90.8%、立田地区が90.
4%、八開地区が73.2%、佐織地
区が93.7%。

Q 敬老事業の2会場での参加人数
は。また今後の敬老式は。

A 佐屋地区、佐織地区それぞれ350
名ほどの参加であり、当面は2会場
で実施している。

Q 海南病院施設整備事業補助の内
容は。

A 平成22年度から36年度までの15
年間にわたり、海南病院の施設整備
事業に要する経費を補助するもの。

Q 防災等情報メール配信の登録件
数は。

A 保護者や家族などで5千279件の
登録がある。

Q 農業委員会の地区別委員数は。
また農地パトロールはどのように
行っているか。

A 佐屋地区12名、立田地区10名、
八開地区8名、佐織地区7名で、地
区ごとに農地パトロールを行ってい
る。

Q 地域内側溝・舗装工事の地区別
割合は。

A 財政需要額の割合で決めてお
り、佐屋地区40%、立田地区22%、
八開地区16%、佐織地区22%。

広報特別委員会からの報告

議会放映案作りがはじまります

議会広報特別委員会の役割を学びました

昨年度、議会広報特別委員会で議会改革の先進地である永平
寺町と越前市に視察に行きました。議会放映はもちろんのこと
議会報告会やツイッターなどインターネットを使った市民への
情報発信が充実しており、議会の中で広報委員会が大きな役割
を果たしていました。

この視察で私たちは、「広報委員会とは、議会だよりを発行す
るだけでなく、広く市民に議会情報を伝え、市民からも議会に
対する意見を聞き取るパイプの役割がある」ことを学びました。

2月に、市民に聞く会を開催しました

この会では、議会だよりについての意見を聞きました。そこ
でいただいた意見は次のように反映しました。

- ①議員の賛否の態度を掲載
- ②特集ページをつくる

③行政用語をできるだけ避け、わかりやすい表現にする。

その他、読み手にとって読みやすいかを、まだまだ不十分で
はありますが、検証しながら進めてきました。

議会放映についても取り組もう！

議会広報特別委員会で決定

統合庁舎建設に伴い、新議場の工事もあります。議会放映に
ついてとりまとめる必要があると、7月18日の議会広報特別委
員会で「議会放映の案作りは、当委員会で取り組むことを議会活
性化協議会に提案すること」を全員賛成で合意。そして、翌19日
に、議会活性化協議会で認められ、9月26日の全員協議会です
承されました。

ユーチューブなどを利用したインターネット中継であれば、
10万円以下で放映できますが、ケーブルテレビなどを使った場
合は、初期投資と放映費が毎年必要になります。市民の皆さん
からの意見も聞きながら、案作りに取り組んでいきます。